2020 年度第 24 回研究力伸張セミナー
英語論文セミナー2020【3】オンライン講座（日本語）
アンケート調査結果報告書

1)調査目的　本調査は、英語論文セミナー2020【3】において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
2)調査対象　英語論文セミナー2020【3】当日受講者全員
3)調査方法　英語論文セミナー2020【3】終了後、メールにて Web アンケートへの回答を依頼
4)調査期間　2020 年 10 月 7 日（水）～10 月 19 日（月）

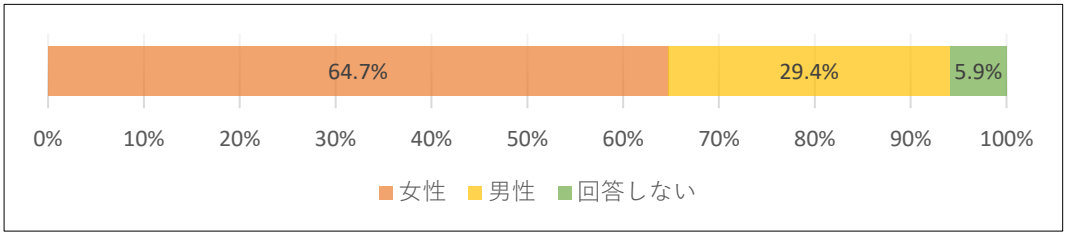
■アンケート集計結果

回答数　対象者　53 名、回答者　17 名
回答率　32.1%

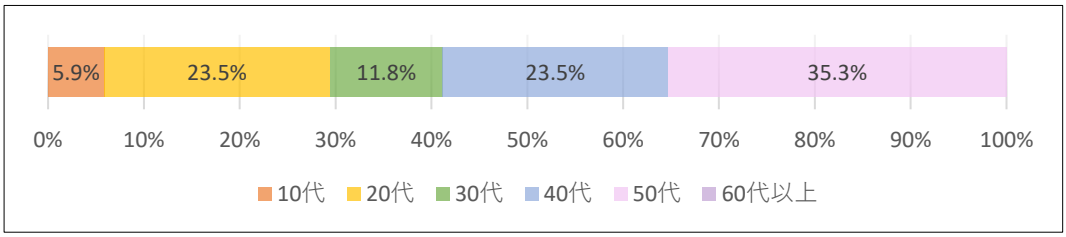
■アンケート調査結果

問．回答者の属性

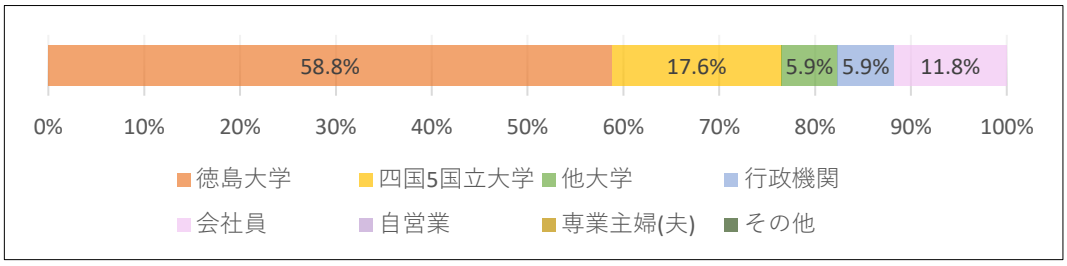
◆性別



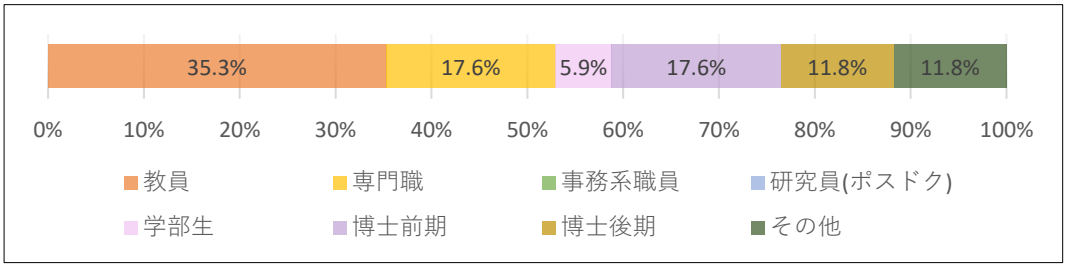
◆年齢



◆所属

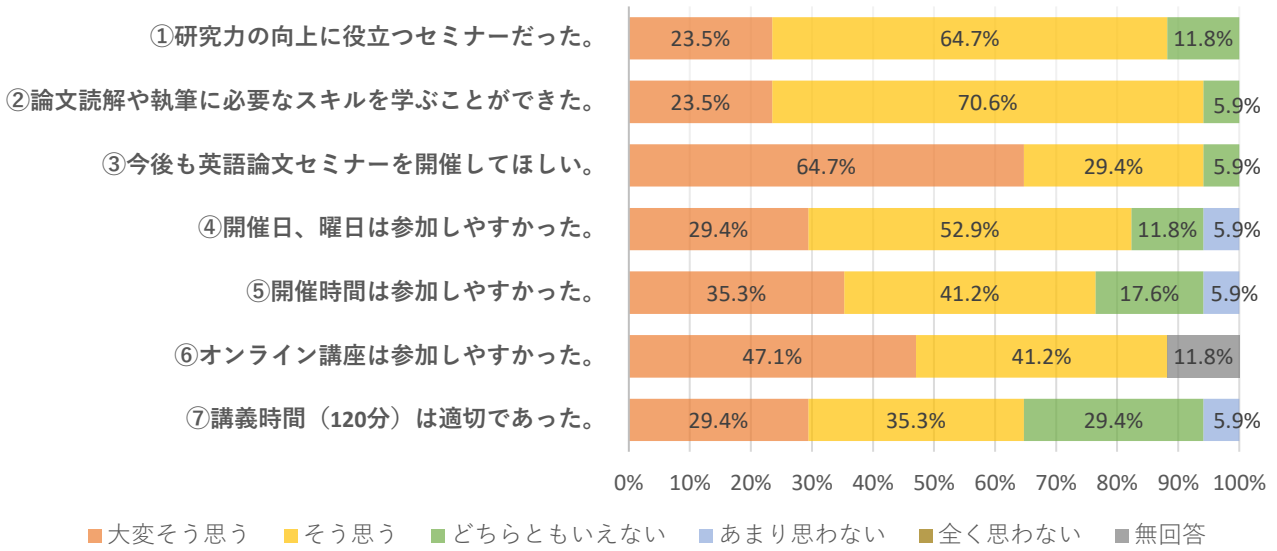


◆職種



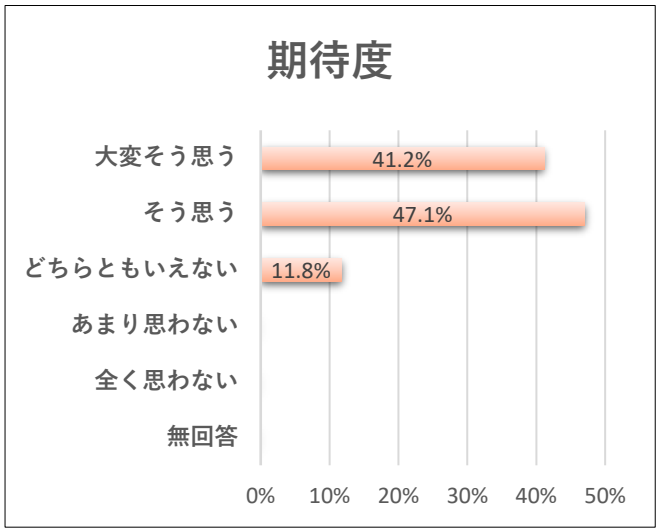
回答者の性別では、女性が 64.7%で男性が 29.4%であった。
年齢は 10 代～30 代が 41.2%で、40 代以上が 58.8%であった。
所属は、徳島大学が 58.8%で、他機関等の学外からは 41.2%であった。
職種は、教員が 35.3%と最も多く、次いで専門職・博士前期がともに 17.6%であった。

問．以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

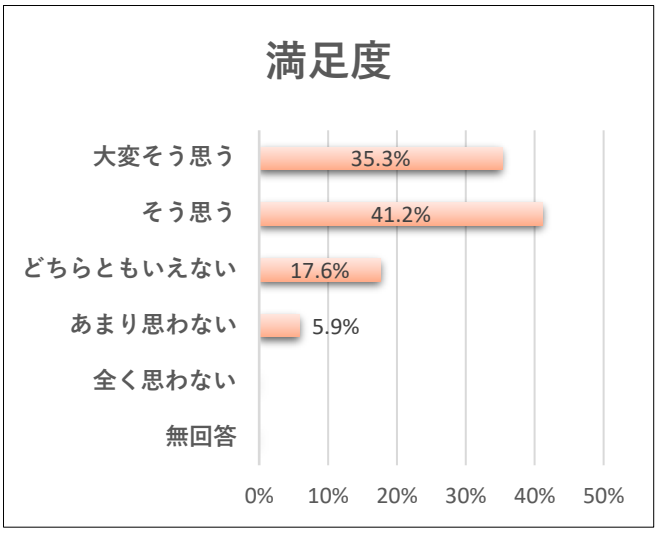


『研究力の向上に役立つセミナーだった』に対して 88.2%、『論文読解や執筆に必要なスキルを学ぶことができた』に対して、94.1%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、有意義なセミナーとなった。また、『今後も英語論文セミナーを開催してほしい』に対しては、94.1%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズが非常に高いことがわかった。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催日、曜日』82.3%、『開催時間』76.5%、『講義時間(120 分)は適切であった』64.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、概ね参加しやすい形式であったとうかがえる。また、今年度より新たに取り入れた『オンライン講座』形式については、88.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、どこからでも参加できるといったメリットがあるためか、高い評価を得た。

・本セミナーに期待していた

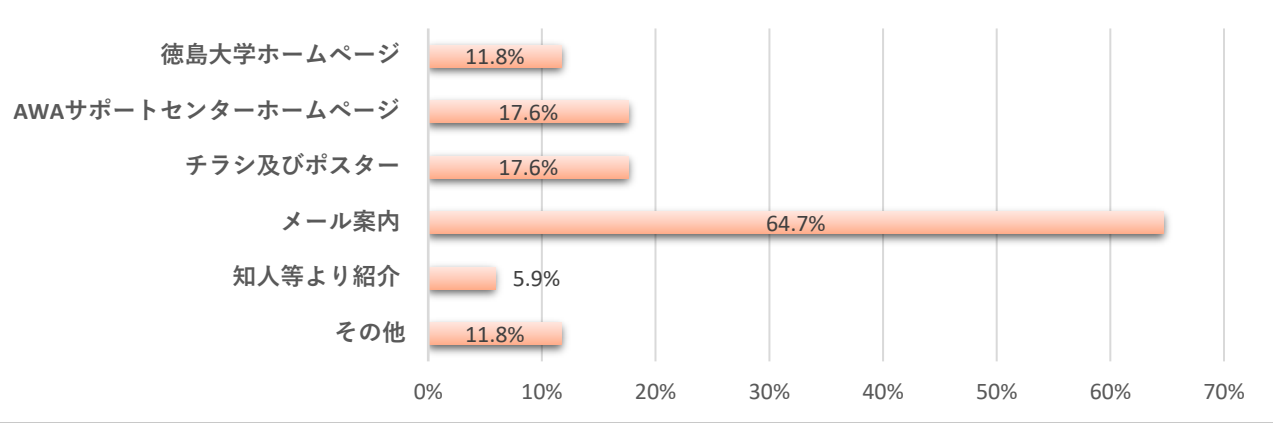


・本セミナーは期待どおりだった



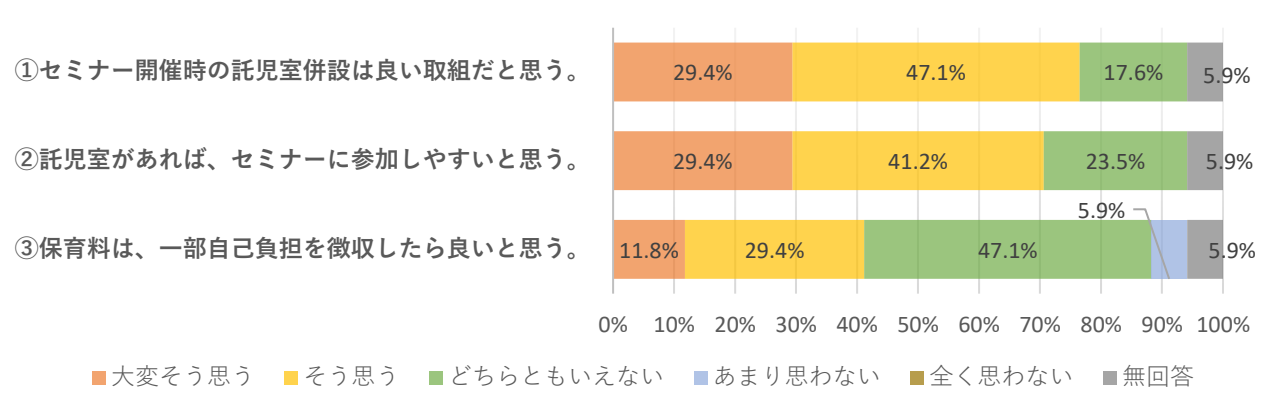
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、88.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、
満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、76.5%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。
また、期待度の平均値は 4.3 点、満足度は 4.0 点であり、期待度、満足度ともに高かった。

問．英語論文セミナー2020【3】の開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催の広報効果については、『メール案内』が 64.7%と最も高く、次いで『AWA サポートセンターホームページ』『チラシ及びポスター』が 17.6%であった。

問．託児室（夕方または土日祝祭日開催時）を併設したセミナーの開催についてお伺いします。



『セミナー開催時の託児室併設は良い取組だと思う』に対して、76.5%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『託児室があれば、セミナーに参加しやすいと思う』に対して、70.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、セミナーに参加するための有用な取組との見解が高いことがわかった。
一方、『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、41.2%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、47.1%が『どちらともいえない』、5.9%が『あまり思わない』と回答しており、保育料の一部自己負担については見解に相違が見られる。